

PRESS RELEASE

2026 年 9 月 7 日

日本における尋常性白斑患者さんの治療状況に関する論文が The Journal of Dermatology に掲載

- 尋常性白斑と診断された患者さんの 67.5%が診断後 1 年以内に治療を受けず
- 尋常性白斑患者さんの治療実態から、課題やアンメットニーズが明らかに

アッヴィ合同会社(本社:東京都港区、社長:ティアゴ・カンポス ロドリゲス)は、日本における尋常性白斑患者さんを対象に治療状況などに関する調査を皮膚科医師と共同で実施し、8 月 27 日にその結果が The Journal of Dermatology に掲載されたことをお知らせします。本研究は、株式会社 JMDC のレセプトデータを用いた後ろ向きコホート分析で、12 歳以上の患者さん 4,800 名(男性:52.7%、女性:47.3%、平均年齢:40.2 歳)を対象としたものです。

今回の研究結果から、尋常性白斑と診断された患者さんのうち、67.5%の患者さんが診断後 12 カ月以内に尋常性白斑に対する治療を受けなかったことが明らかになりました。一方、診断後 12 カ月以内になんらかの治療を受けた 32.5%の患者さんのうち、76.0%は光線療法を受けていました。なお、2026 年 3 月に開催された American Academy of Dermatology の学会発表では、治療を受けた 32.5%の患者さんのうち、61.5%が 1 年以内に治療を中断していたことも示されました。

本研究の著者である近畿大学奈良病院 皮膚科 臨床教授、診療部長 大磯 直毅先生は、次のように述べています。「尋常性白斑は患者さんの QOL や社会生活に大きな影響を及ぼし得る疾患です。今回の研究では、日本における尋常性白斑の治療実態として、約 7 割の患者さんが診断後に治療を受けていなかったことや、治療を受けた患者さんにおいても治療継続に課題がある可能性が示されました。

これらの結果は、尋常性白斑の診療や患者さんを取り巻く環境について、さらなる理解を深める上で有用な知見となります」

尋常性白斑の治療においては、疾患活動性を評価し、患者さんとの共同意思決定支援 (Shared Decision Making: SDM) を用いて治療目標を決定したうえで、進行の抑制または色素再生を目指した治療方針を策定することが推奨されています¹。一方で、これらの目標を達成するために承認されている全身薬物療法はなく、新たな治療選択肢が求められています。現在、アッヴィはウパダシチニブについて、尋常性白斑を対象とした適応追加承認を申請中です。

尋常性白斑について

皮膚の色素化を担うメラノサイト (色素細胞) が何らかの原因で減少・消失する後天性の疾患です²。国内における白斑の罹患率は海外の罹患率と差異はなく、約 0.5%–1%といわれています。白斑は、美容上の問題だけではなく、患者さんにとって身体的かつ精神的健康に大きな影響を及ぼしうる疾患です³。最大約 70%の患者さんが抑うつや不安などの精神疾患または抑うつ症状を発症しているとの報告もあり、メンタルヘルス上の負担と関連していると考えられています⁴。白斑患者さんは、皮膚の病変を見られることを躊躇し外出や社会活動を控えることから社会的孤立に陥りやすく、社会生活や学業、就業などさまざまな場面において影響が生じる可能性があります⁴⁻¹³。特に児童の場合、いじめやかからかいなどを受けるケースもあり、成長期のアイデンティティ形成や同年代の友人関係に重大な影響を及ぼすことが報告されています^{10,11,14}。

アッヴィについて

アッヴィのミッションは現在の深刻な健康課題を解決する革新的な医薬品の創製とソリューションの提供、そして未来に向けて医療上の困難な課題に挑むことです。一人ひとりの人生を豊かなものにするため次の主要領域に取り組んでいます。免疫疾患、精神・神経疾患、がん、さらに美容医療関連のアラガン・エスティックスポートフォリオの製品・サービスです。アッヴィの詳細については、www.abbvie.com をご覧ください。[LinkedIn](#)、[Facebook](#)、[Instagram](#)、[X](#) や [YouTube](#) でも情報を公開しています。

日本においては主に、免疫疾患、肝疾患、精神・神経疾患、がん、アイケアの領域、さらに美容医療関連のアラガン・エスティックスのポートフォリオで、製品の開発と提供に取り組んでいます。アッヴィの詳細については、www.abbvie.co.jpをご覧ください。[Facebook](#)や[YouTube](#)でも情報を公開しています。

References:

1. 尋常性白斑診療ガイドライン策定委員会: 日本皮膚科学会 尋常性白斑診療ガイドライン第 2 版 2025, 日皮会誌, 2025;135(3):485-525.
2. 公益社団法人日本皮膚科学会 皮膚科 Q&A (白斑) https://qa.dermatol.or.jp/qa20/s1_q01.html (2026 年 7 月 15 日閲覧)
3. FDA. The Voice of the Patient - A series of reports from the U.S. Food and Drug Administration's (FDA's) Patient-Focused Drug Development Initiative - Vitiligo. Silver Spring, MD: FDA; 2021.
4. Ezzedine K, Eleftheriadou V, Jones H, et al. Psychosocial Effects of Vitiligo: A Systematic Literature Review. Am J Clin Dermatol. 2021;22(6):757-74.
5. Bassiouny D, Hegazy R, Esmat S, et al. Cosmetic camouflage as an adjuvant to vitiligo therapies: Effect on quality of life. J Cosmet Dermatol. 2021;20(1):159-65.
6. Krüger C, Schallreuter KU. Stigmatisation, Avoidance Behaviour and Difficulties in Coping are Common Among Adult Patients with Vitiligo. Acta Derm Venereol. 2015;95(5):553-8.
7. Porter J, Beuf AH, Lerner A, et al. Response to cosmetic disfigurement: patients with vitiligo. Cutis. 1987;39(6):493-4.
8. Bibeau K, Ezzedine K, Harris JE, et al. Mental Health and Psychosocial Quality-of-Life Burden Among Patients With Vitiligo: Findings From the Global VALIANT Study. JAMA Dermatol. 2023;159(10):1124-8.
9. Pun J, Randhawa A, Kumar A, Williams V. The Impact of Vitiligo on Quality of Life and Psychosocial Well-Being in a Nepalese Population. Dermatol Clin. 2021;39(1):117-27.
10. Silverberg JI, Silverberg NB. Quality of life impairment in children and adolescents with vitiligo. Pediatr Dermatol. 2014;31(3):309-18.
11. Parsad D, Dogra S, Kanwar AJ. Quality of life in patients with vitiligo. Health Qual Life Outcomes. 2003;1:58.
12. Castellano-Lopezosa L, Ureña Paniego C, Haselgruber S, et al. Impact of Vitiligo on Major Lifechanging Decisions and Perceived Stigmatization: A Cross-sectional Study. Acta Derm Venereol. 2025;105:adv44198.
13. Seneschal J. Clinical Features of Vitiligo and Social Impact on Quality of Life. Dermatol Pract Concept. 2023;13(4S2):e2023312S.
14. Ucuz I, Altunisik N, Sener S, et al. Quality of life, emotion dysregulation, attention deficit and psychiatric comorbidity in children and adolescents with vitiligo. Clin Exp Dermatol. 2021;46(3):510-5.